

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10143026 A

(43) Date of publication of application: 29.05.98

(51) Int. CI G03G 21/00
 G03G 21/00
 H04N 1/00
 // H04L 12/40

(21) Application number: 08314253

(22) Date of filing: 11.11.96

(71) Applicant: RICOH CO LTD

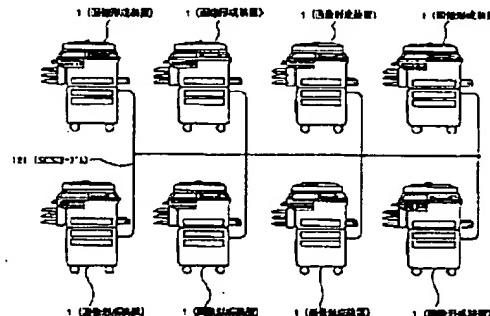
(72) Inventor: ISHIGURO HISASHI
 MORI HIROSHI
 KOIKE MORIYUKI
 HARADA TOMOSHI
 HATTORI YASUHIRO

(54) IMAGE PROCESSING SYSTEM

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve the operability by reducing the down time in an image processing system constituted so that plural image forming devices are connected to each other and image data are mutually transferred among respective image forming devices so as to output images.

SOLUTION: In the case at least one image forming device 1 is used to read an original image and at least two or more image forming devices 1 bear their share of the copying processing of the read original image, when all the image forming devices 1 in the system are under reloading at this time a copying operation start instruction key is depressed, an original reading operation by the image forming device 1 for reading the original image is precedingly executed. Further, when one of the image forming devices 1 sharing the copying processing is not in a reloading state, printing operations are successively started from the image forming devices 1 in the reloading states or the transfer of the image date to the image forming devices 1 in the reloading states is precedingly performed.



COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-143026

(43)公開日 平成10年(1998)5月29日

(51) Int.Cl.⁶
 G 0 3 G 21/00
 H 0 4 N 1/00
 // H 0 4 L 12/40

識別記号
 3 9 6
 3 7 8

F I
 G 0 3 G 21/00
 H 0 4 N 1/00
 H 0 4 L 11/00

3 9 6
 3 7 8
 C
 3 2 1

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全22頁)

(21)出願番号 特願平8-314253
 (22)出願日 平成8年(1996)11月11日

(71)出願人 000006747
 株式会社リコー
 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
 (72)発明者 石黒 久
 東京都大田区中馬込一丁目3番6号 株式会社リコー内
 (72)発明者 森 弘
 東京都大田区中馬込一丁目3番6号 株式会社リコー内
 (72)発明者 小池 守幸
 東京都大田区中馬込一丁目3番6号 株式会社リコー内

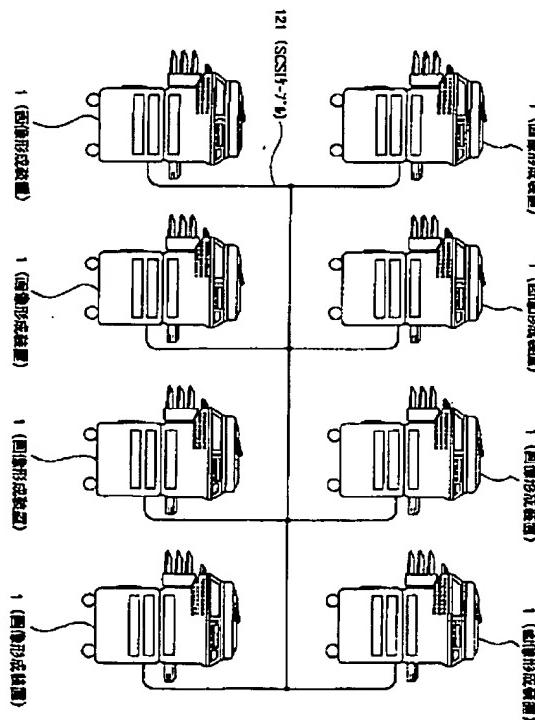
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 画像処理システム

(57)【要約】

【課題】複数の画像形成装置を相互に接続し、各画像形成装置間で画像データを相互に転送して画像を出力させるようになった画像処理システムにおいて、ダウンタイムを少なくし作業性を向上させる。

【解決手段】少なくとも1台の画像形成装置1を使用して原稿画像を読み取り、そのコピー処理を少なくとも2台以上の画像形成装置1に分担させる際、コピー動作開始指示キーが押下された時点でシステム内の全ての画像形成装置1がリロード中であった場合、原稿画像の読み取りを行う画像形成装置1による原稿読み取り動作を先行して行うようにした。また、コピー処理を分担する画像形成装置のいづれかがリロード状態になっていない場合は、リロード状態になっている画像形成装置から順次プリント動作を開始させ、あるいはリロード状態になっている画像形成装置に対する画像データ転送を先行して行うようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 原稿画像を読み取りその画像データを他の装置に転送する機能を備えた複数の画像形成装置を通信媒体を介して相互に接続し、各画像形成装置間で画像データを相互に転送して画像を出力させるようになした画像処理システムにおいて、

少なくとも1台の画像形成装置を使用して原稿画像を読み取り、そのコピー処理を少なくとも2台以上の画像形成装置に分担させる際、原稿画像の読み取りを行う画像形成装置のコピー動作開始指示キーが押下された時点で、コピー処理を分担する画像形成装置が全てリロード状態になっていない場合は、原稿画像の読み取り動作を先行するようになしたことを特徴とする画像処理システム。

【請求項2】 請求項1記載の画像処理システムにおいて、原稿画像の読み取りを行う画像形成装置のコピー操作開始指示キーが押下された時点で、コピー処理を分担する画像形成装置のいずれかがリロード状態になっていない場合は、リロード状態になっている画像形成装置から順次プリント動作を開始するようになしたことを特徴とする画像処理システム。

【請求項3】 請求項1記載の画像処理システムにおいて、原稿画像の読み取りを行う画像形成装置のコピー操作開始指示キーが押下された時点で、コピー処理を分担する画像形成装置のいずれかがリロード状態になっていない場合は、リロード状態になっている画像形成装置に対する画像データ転送を先行するようになしたことを特徴とする画像処理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、デジタル画像信号を取り扱う装置、例えばデジタル複写機、スキャナ装置、プリンタ装置、ファクシミリ装置などを連結した画像処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】デジタル画像信号を取り扱う装置、例えばデジタル複写機、スキャナ装置、プリンタ装置、ファクシミリ装置などを連結した画像処理システムとして、従来、特開平7-297967号公報の「画像形成システム」、特開平8-83023号公報の「複写機システム」、特開平5-304575号公報の「デジタル複写装置」などが提案されている。特開平7-297967号公報の「画像形成システム」では、図25に示す如く、分配コピーモードが設定されている状態で複写枚数が複数部指定されたとき、発信元となる複写装置201により、通信線202を介して他の複写装置の状態からステータス情報データを送信させてこれらの各複写装置の動作状態を確認し、この確認結果に基づきアイドル状態となっている複写装置に対し、複写枚数指定データ、画像データを送信して指定された部数のコピー動作を分

担させることにより、コピーの生産性および利用効率を向上させる。また、特開平8-83023号公報の「複写機システム」では、図26に示す如く複数の複写機211をネットワーク的に接続し、これらの各複写機211間で画像データの送受信を行なうとき、管理装置212によって各複写機211に設けられた排紙量検知手段の検知内容を処理して排紙枚数が制限量に達したかどうかを判定し、排紙枚数が制限量に達した時点でこの複写機211のコピー処理を中断させて他の各複写機211に同一の複写処理を肩代りすることにより、ネットワーク的に接続されている各複写機211の処理能力を最大限に活用させながらその操作性を向上させ、総合的な作業効率を向上させる。また、特開平5-304575号公報の「デジタル複写装置」では、図27に示す如く複数のデジタル複写装置221が接続されている伝送ケーブル222に複写制御信号およびデジタル画像信号を出力して、他のデジタル複写装置221に同じ複写動作を実行させる処理、または他のデジタル複写装置221から複写制御信号およびデジタル画像信号を取り込んで、他のデジタル複写装置211と同じ複写動作を行なうことにより、簡単なハードウェアの追加だけで1つの原稿を複数のデジタル複写装置211置で複写させ、複写時間を増大させることなく大量複写を可能にする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述した従来の画像処理システムでは、いずれの方式でも通信線などを使用して、画像読み取り機能や画像データ出力機能を持つ各画像処理装置などを接続して機能を分散させることができるもの、個々の画像処理装置により定着ヒータの立ち上がり時間にはばらつきがあり、また電源を入れるタイミングによってもリロード状態、すなわち定着ヒータの温度が定着可能温度に達しコピーが可能である状態になるまでに装置間で時間差が生じるため、システム内の全ての画像処理装置がリロード状態になるのを持っていたのでは、トータルとして装置の利用効率が低下し作業性が低下するという問題があった。本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、請求項1では、コピー動作開始指示キーが押下された時点でシステム内の全ての画像形成装置がリロード中であった場合に、操作機すなわち原稿画像の読み取りを行う画像形成装置による原稿読み取り動作を先行して行うことにより、ダウントIMEを少なくし、トータルとしての作業性を向上できる画像処理システムを提供することを目的とする。また、請求項2では、請求項1の目的に加え、コピー動作開始指示キーが押下された時点でシステム内の全ての画像形成装置がリロード中であった場合、その後リロード状態になった画像形成装置から順次プリント動作を先行して行わせることにより、ダウントIMEを少なくし、トータルとしての作業性をより向上させることを目的とする。また、請求項3では、請求項1の目的に加え、コピ

一動作開始指示キーが押下された時点でシステム内の全ての画像形成装置がリロード中であった場合、操作機からの画像データ転送を先行して行うことにより、ダウンタイムを少なくし、トータルとしての作業性をより向上させることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、請求項1記載の発明では、原稿画像を読み取りその画像データを他の装置に転送する機能を備えた複数の画像形成装置を通信媒体を介して相互に接続し、各画像形成装置間で画像データを相互に転送して画像を出力させるようになした画像処理システムにおいて、少なくとも1台の画像形成装置を使用して原稿画像を読み取り、そのコピー処理を少なくとも2台以上の画像形成装置に分担させる際、原稿画像の読み取りを行う画像形成装置のコピー動作開始指示キーが押下された時点で、コピー処理を分担する画像形成装置が全てリロード状態になつてない場合は、原稿画像の読み取り動作を先行するようになしたことの特徴とする。また、請求項2記載の発明では、請求項1記載のシステム構成を前提にして、原稿画像の読み取りを行う画像形成装置のコピー動作開始指示キーが押下された時点で、コピー処理を分担する画像形成装置のいづれかがリロード状態になつてない場合は、リロード状態になつてない画像形成装置に対する画像データ転送を先行するようになしたことの特徴とする。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。

《基本構成例》図1は本発明による画像処理システムの一形態例で使用される画像形成装置の一例を示す構成図である。この図に示す画像形成装置1は、縦長の矩形状に形成される装置匡体2と、この装置匡体2の上部に設けられる自動原稿送り装置3と、装置匡体2の上側に設けられる画像読取装置4と、装置匡体2の下側に設けられる画像作成装置5と、装置匡体2の側部に設けられる後処理装置6と、装置匡体2の上部に設けられる操作装置7と、装置匡体2内の下側に設けられる給紙装置8とを備えている。操作装置7によって他の画像形成装置1と連結指示が指定されている状態でプリントキー33(図2参照)が押下されたとき、セットされている原稿を1枚ずつ読み取りながら連結されている各画像形成装置1に原稿画像データを送信してこれらの各画像形成装置1にプリント処理を分担させ、指定された部数だけブ

リントアウトさせる。以下、前記画像形成装置1を構成する自動原稿送り装置3、画像読取装置4、操作装置7、画像作成装置5、給紙装置8、後処理装置6について順次詳細に説明する。

【0006】自動原稿送り装置3は、装置匡体2の上部に開閉自在に設けられる送り装置匡体9と、この送り装置匡体9上部に設けられる原稿台10と、この原稿台10に原稿がセットされているときこれを検知する原稿セット検知センサ11と、前記原稿台10上にセットされている原稿を1枚ずつ取り込む給送ローラ12と、複数のローラ13および給送ベルト14などによって構成され、給送ローラ12によって取り込まれた原稿を装置匡体2側のコンタクトガラス18上に送る給送機構15と、コンタクトガラス18上でその画像が読み取られた後給送機構15によって搬送された原稿を取り込んで、送り装置匡体9の上部に形成された排紙部16上に排出する排送ローラ17と、これら原稿セット検知センサ11～排送ローラ17を制御する処理、送った原稿の枚数をカウントする処理などを行なう制御部(図示は省略する)と、この制御部の制御の下に給送ローラ12～排送ローラ17を駆動する搬送モータ(図示は省略する)とを備えている。

【0007】画像作成装置5から原稿送り指示が出力されたとき、原稿台10上に載置されている原稿を1枚ずつ取り込んで、これを画像読取装置4に設けられたコンタクトガラス18上に導いて画像を読み取らせた後、この原稿を再度搬送して排紙部16上に排紙する処理を繰り返す。また、画像読取装置4は、装置匡体2の上部に形成された開口部に填込まれ、自動原稿送り装置3によって開閉自在に閉じられるコンタクトガラス18と、装置匡体2内に配置されたガイドレール(図示は省略する)により、副走査方向に対し移動自在に構成され、変倍率に応じた第1速度で走行駆動される第1キャリッジ19と、この第1キャリッジ19上に配置されたコンタクトガラス18上に載置されている原稿を照明する光源20と、第1キャリッジ19上に配置され、前記原稿から光(光学画像)を反射する第1ミラー21とを備えている。さらに、画像読取装置4は、装置匡体2内に配置されたガイドレール(図示は省略する)により副走査方向に対し移動自在に構成され、第1キャリッジ19が移動しても原稿を読み取る際の光路長が一定となるように、第1速度の半分の速度(第2速度)で走行駆動される第2キャリッジ22と、この第2キャリッジ22上に配置され第1ミラー21から反射された光学像を反射する第2、第3ミラー23、24と、装置匡体2内に移動自在に配置されピント、倍率などに応じた位置に位置調整されて、第3ミラー24から出射された光学像を集光するレンズ25と、装置匡体2内に移動自在に配置され、ピント、倍率などに応じた位置に位置調整されて、前記レンズ25で集光された光学像を受光し、電気信号(画像

信号)に変換するCCDイメージセンサ26とを備えている。

【0008】画像作成装置5側から画像読取指令が出力されたとき、読取倍率、読取範囲などに応じて、レンズ25と、CCDイメージセンサ26の位置を左右方向(副走査方向)に移動させてその位置を調整した後、第1キャリッジ19の光源20を点灯させた状態で第1キャリッジ19と、第2キャリッジ22とを各々第1、第2速度で副走査方向に走行させながらコンタクトガラス18上に載置された原稿の画像を取り込むとともに、レンズ25によってCCDイメージセンサ26上に集光して画像信号を生成し、これを画像作成装置5に供給する。また、操作装置7は、図2に示す如く装置匡体2の上部に左右方向に長くなるように配置されるLCDディスプレイ(液晶ディスプレイ)27と、このLCDディスプレイ27の上面部に配置され、オペレータによってLCDディスプレイ27がタッチされたとき、これを検出してタッチ位置情報を生成するタッチパネル28と、LCDディスプレイ27の右側に配置されたテンキー29、初期設定キー30、モードクリアキー31、クリア／ストップキー32、コピー動作開始指示キーであるプリントキー33などによって構成されるキーボード135と、マイクロプロセッサを持ち、装置匡体2内の上部側に配置され、I/Oポートを介して画像作成装置5側のシステムコントローラ119(図7参照)と通信を行ないながら前記システムコントローラ119から出力される表示指示指令、状態情報などを取り込んでこれをLCDディスプレイ27に表示させる処理、前記タッチパネル28のタッチ位置情報を処理して操作されたキーを検知する処理、前記キーボード135の操作内容を検知する処理、これらの処理結果を前記システムコントローラ119に送信する処理などを行なう操作部(図示は省略する)とを備えている。

【0009】前記システムコントローラ119からコピー表示画面指示が出力されたとき、操作部によってこれを取り込んでLCDディスプレイ27上に、コピー表示画面指示で指定された画面、例えば図3に示す如く現在コピーができることを示す状態メッセージ34と、現在のセット枚数を示すコピー枚数表示メッセージ35と、自動濃度指示を指定する際に操作される自動濃度キー36と、転写紙46を自動的に選択する際に操作される自動用紙選択キー37と、倍率を等倍にセットする際に操作される等倍キー38と、コピーを一部ずつページ順に揃える処理を指定する際に操作されるソートキー39と、コピーをページ毎に仕分けする処理を指定する際に操作されるスタックキー40と、ソート処理されたものを一部ずつ綴じる処理を指定する際に操作されるステープルキー41と、拡大／縮小倍率をセットする際に操作される変倍キー42と、両面モードを設定する際に操作される両面／分割キー43と、複数の原稿画像を1

枚のコピーに集約させる際などに操作される集約キー44と、SCSIケーブルなどを使用したネットワークを介して、各画像形成装置1に多量のコピーをプリントアウトさせる際に操作される連結モードキー45などを表示させる。

【0010】また、給紙装置8は、図1に示す如く装置匡体2内に出没自在に収納され、各々指定されたサイズの転写紙46が収納される第1～第3給紙トレイ47～49と、これら第1～第3給紙トレイ47～49毎に設けられた第1～第3給紙クラッチ(図示は省略する)の断続動作によって、第1～第3給紙トレイ47～49に収納されている各転写紙46を取り出す第1～第3給紙ユニット50～52と、断続動作する中間クラッチ(図示は省略する)および複数の搬送ローラ53などを有し、前記中間クラッチの断続動作によって、第1～第3給紙ユニット50～52によって取り出された転写紙46を上方に搬送する縦搬送ユニット54と、この縦搬送ユニット54によって搬送された転写紙46を取り込み、タイミングをとって画像作成装置5に供給するレジストローラ55とを備えており、プリント動作を行なうとき第1～第3給紙トレイ47～49に格納されている各サイズの転写紙46のうち指定されたサイズの転写紙46を取り出し、これを上方に搬送するとともに感光体66上に形成されているトナー画像の先端部が紙転写位置に到達するタイミングに合わせて転写紙46を画像作成装置5に供給する。

【0011】画像作成装置5は、図1に示す如く画像読取装置4から出力される画像信号に基づき光画像の書き込みを行なう書き込み光学ユニット56と、一度、画像が形成された転写紙46の表裏を反転させて前記縦搬送ユニット54に再給紙する両面給紙ユニット57と、前記書き込み光学ユニット56で生成された光画像をトナー画像として顕像化させる顕像化ユニット58と、給紙装置8により取り出された転写紙46に対し、前記顕像化ユニット58で顕像化されたトナー画像を転写させる紙転写ユニット59と、この紙転写ユニット59で画像が転写された転写紙46上のトナーを溶融定着させる定着ユニット60と、この定着ユニット60でトナー画像が定着された転写紙46を装置匡体2の左側に取り付けられた後処理装置6、前記両面給紙ユニット57のいずれか一方導く搬送路切替ユニット61と、この画像形成装置1全体の動作を制御する制御基板62とを備えており、画像読取装置4から出力される画像信号で示される画像をトナー画像として顕像化させて指定されたサイズの転写紙46上にトナー画像を転写させた後、トナー画像を定着させ、機外の後処理装置6に供給する。

【0012】この場合、前記書き込み光学ユニット56は、制御基板62から出力される画像データに基づきレーザー光を発生するレーザーダイオード、このレーザーダイオードから出射されるレーザー光をスキャンさせる

ポリゴンミラー、このポリゴンミラーを回転させる駆動モータなどによって構成されるレーザー出力ユニット63と、このレーザー出力ユニット63から出力されるレーザー光を $f\theta$ 変換する $f-\theta$ レンズなどのレンズ群64と、このレンズ群64からのレーザー光を反射して前記顕像化ユニット58に供給するミラー65とを備えており、制御基板62から出力される画像データを光信号に変換して前記顕像化ユニット58を構成する感光体66上に画像データに対応した光画像を書き込んで静電潜像を形成する。

【0013】顕像化ユニット58は、メインモータ（図示は省略する）によって回転駆動されながら前記書込み光学ユニット56から出射されるレーザー光により潜像が形成される感光体66と、この感光体66の一端近傍に配置され、前記書込み光学ユニット56から出射されるレーザー光を検出したとき、主走査同期信号（LSYNC）を生成してシステムコントローラ119に供給するビームセンサ（図示は省略する）と、前記感光体66の周りに配置されて、感光体66をクリーニングする感光体クリーニングユニット（図示は省略する）と、感光体66の周りに配置されて、感光体66を均一に帯電させる帯電ユニット（図示は省略する）と、感光体66の周りに配置されて、感光体66上に形成されている静電潜像を現像する現像ユニット67とを備えている。

【0014】プリント処理を行なうとき、メインモータの駆動力によって感光体66を回転駆動しながらこの感光体66の表面に対し、クリーニングユニットによるクリーニング処理、帯電ユニットによる帯電処理を行ないながら前記書込み光学ユニット56から出射されるレーザー光によって光画像を書き込んで静電潜像を形成した後、現像ユニット67によって感光体66上に形成されている静電潜像を現像してトナー画像を形成する。また、紙転写ユニット59は、感光体66と対向するように配置され、感光体66上に形成されたトナー画像を転写紙46に転写させると、バイアス電圧が印加される紙転写バイアスローラ68と、前記メインモータによって回転駆動される駆動ローラ69と、これら駆動ローラ69、紙転写バイアスローラ68に張設され、紙転写バイアスローラ68によって感光体66上のトナー画像が転写された転写紙46を搬送する搬送ベルト70とを備えており、プリント動作を行なうとき、レジストローラ55から供給された転写紙46を介在させた状態で搬送ベルト70を感光体66に押圧しながら紙転写バイアスローラ68に所定のバイアス電圧を印加して、感光体66上に形成されているトナー画像を転写紙46にして転写させた後、これを定着ユニット60に搬送する。定着ユニット60は、所定温度となるようにコントロールされた定着ローラ71と、紙転写ユニット59によって搬送してきた転写紙46を前記定着ローラ71に押し付ける加圧ローラ72とを備えており、紙転写ユニット5

9から搬送されてきた転写紙46を加圧しながら加熱して、この転写紙46上に形成されているトナー画像を溶融定着させ、搬送路切替ユニット61に搬出する。

【0015】搬送路切替ユニット61は、前記定着ユニット60から供給された転写紙46を取り込む取込みローラ73と、この取込みローラ73によって取り込まれた転写紙46の搬送路を切り替える切替爪74と、この切替爪74によって転写紙46が左側（図1において左側）に導かれたとき、転写紙46を左側に搬送して機外の後処理装置6に導く複数の排紙ローラ75と、前記切替爪74によって転写紙46が下側（図1において下側）に導かれたとき、これを前記両面給紙ユニット57に導く複数の両面入紙ローラ76とを備えており、前記定着ユニット60から搬送されてきた転写紙46を取り込むとともに、システムコントローラ119の指示に基づき切替爪74によって搬送方向を切り替えて、そのまま後処理装置6に供給したり、両面給紙ユニット57に導く。両面給紙ユニット57は、搬送路切替ユニット61から供給された転写紙46を取り込んだ後で逆方向に搬送して転写紙46の表裏を反転させる反転ローラ77と、この反転ローラ77によって反転された転写紙46を取り込んでストックする両面給紙カセット78と、この両面給紙カセット78にストックされている反転済みの転写紙46を給紙装置8の縦搬送ユニット54に供給する再給紙ローラ79とを備えており、システムコントローラ119から両面入紙指示が出力されているとき、搬送路切替ユニット61から供給された転写紙46を取り込んだ後で反転ローラ77によって転写紙46の搬送方向を反転させて一時的にストックした後再給紙ローラ79によって反転済み転写紙46を給紙装置8の縦搬送ユニット54に供給する。

【0016】また、後処理装置6は、画像作成装置5の転写紙排出側に設けられる矩形状の匡体80と、この匡体80側部の上部側に設けられる排紙トレイ81と、匡体80側部の中段部分に設けられるステープルトレイ82と、匡体80側部の下部側に設けられる落下トレイ83と、匡体80内に配置された画像作成装置5から排出される転写紙46を上側（通常の排紙処理側）または下側（ステープル処理側）に導く分岐偏向板84と、この分岐偏向板84によって上側に導かれた転写紙46を上方に搬送する複数のスタッカ搬送ローラ85と、これらの各スタッカ搬送ローラ85によって搬送された転写紙46を取り込んで排紙トレイ81上に排紙するスタッカ排紙ローラ86と、分岐偏向板84によって下側に導かれた転写紙46を下方に搬送するステープラ搬送ローラ87と、このステープラ搬送ローラ87によって搬送された転写紙46を取り込んでステープルトレイ82上に排紙するステープラ排紙ローラ88と、ステープルトレイ82上に排紙された複数の転写紙46の端を整え、ステープル指示信号が入力されたとき、転写紙46を落下さ

せる落下ストップ89と、この落下ストップ89によつて落下させられた複数の転写紙46の一端を綴じて、前記落下トレイ83上に落とすステープラ90とを備えている。

【0017】画像作成装置5から通常の排紙指示が出されているときには、画像作成装置5から排出されるコピー済みの転写紙46を取り込んでこれを排紙トレイ81上に排紙し、また画像作成装置5からステープル処理指示が出されているときには、前記画像作成装置5から排出されるコピー済みの転写紙46を取り込んでこれをステープルトレイ82上に排紙して、重ね合わせた後部単位でその一端を綴じて落下トレイ83上に落下させる。また、前記制御基板62はこの画像形成装置1全体の動作を制御するシステムコントローラ119と、このシステムコントローラ119の制御の下に、画像データを処理する画像信号処理部91(図4参照)とを備えており、予め設定されているプログラムに基づき装置各部の動作を制御して、原稿画像の読み取り処理、プリント処理、連結処理などを行なわせる。

【0018】画像信号処理部91は、図4に示す如くCCDイメージセンサ26から出力される画像信号を処理して画像データを生成し、これを前記書込み光学ユニット56に供給する画像処理回路92と、印字イメージデータを発生して画像処理回路92に供給する印字イメージデータ発生回路93と、予め設定されているプログラムに基づきシステムコントローラ119と通信を行ない、この通信結果に応じて画像処理回路92を制御する制御回路94とを備えており、システムコントローラ119から画像処理指令などが供給されたとき、この画像処理指令とともに供給される画像処理情報を取り込みこれを記憶するとともに、この画像処理情報に基づきCCDイメージセンサ26から出力される画像信号を処理して画像データを生成し、これを前記書込み光学ユニット56に供給して潜像の書き込みなどを行なわせる。この場合、前記印字イメージデータ発生回路93は、前記制御回路94のCPU回路102に接続されたCPUバスを介してイメージ登録指令が入力されたとき、このイメージ登録指令とともにに出力されるページ印字用のキャラクタ(文字)イメージや任意のスタンプ用イメージを取り込むとともに、アドレスバスを介して入力されたアドレスデータで指定された番地に前記ページ印字用のキャラクタ(文字)イメージや任意のスタンプ用イメージなどを記憶し、またCPUバスを介して表示位置登録指令が入力されたとき、この表示位置登録指令とともに入力される印字位置パラメータ、印字イメージ指定データなどを記憶しながら、記憶している印字位置パラメータ、印字イメージ指定データなどで指定されたタイミングで、指定されたページ印字用のキャラクタ(文字)イメージや任意のスタンプ用イメージを読み出し、これを画像処理回路92に供給する。

【0019】画像処理回路92は、CCDイメージセンサ26から出力される画像信号をA/D変換して画像データを生成するA/Dコンバータ回路95と、このA/Dコンバータ回路95から出力される画像データをシェーディング補正するシェーディング補正回路96と、このシェーディング補正回路96から出力されるシェーディング補正済みの画像データをMTF補正およびγ補正するMTF/γ補正回路97と、このMTF/γ補正回路97から出力されるMTF補正およびγ補正済みの画像データと印字イメージデータ発生回路93から出力される印字イメージデータなどを合成する第1印字合成回路98と、制御回路94から出力される入出力指定情報に基づき第1印字合成回路98または制御回路94から出力される画像データのいずれか一方を選択して取り込み、指定された出力先に転送するセレクタ回路99と、このセレクタ回路99によって出力先に指定されたとき、前記セレクタ回路99から出力される画像データを取込むとともに、この画像データと印字イメージデータ発生回路93から出力される印字イメージデータなどを合成する第2印字合成回路100と、指定された倍率に応じて前記第2印字合成回路100から出力される画像データを変倍処理して前記書込み光学ユニット56に供給する変倍回路101とを備えている。

【0020】CCDイメージセンサ26から出力される画像信号を取り込んで画像データを生成し、この画像データに対してシェーディング補正、MTF補正およびγ補正、第1合成処理を施した後制御回路94から出力されている入出力指定情報に基づきシェーディング補正、MTF補正およびγ補正、第1合成処理済みの画像データ、または制御回路94から出力される画像データのいずれか一方を選択し、この画像データに対して印字イメージデータ発生回路93から出力されるページ印字用のキャラクタ(文字)イメージや任意のスタンプ用イメージを合成して書き込み光学ユニット56に供給する。この際、セレクタ回路99は、図5の(b)に示す如く1ページ分の範囲を示すフレームゲート信号(F G A T E)が出力されている状態で、図5の(a)に示す如く主走査同期信号(L S Y N C)が出力される毎に、前記主走査同期信号(L S Y N C)の立ち上がり時点から図5の

(c)に示す如く画素同期信号(V C L K)が所定クロック数だけ出力され、図5の(e)に示す如くラインゲート信号(L G A T E)が出力されたとき、画素同期信号に同期して図5の(d)に示す如く画像データを構成する各画素データ(例えば、8ビットで示される256階調の画素データ)を取り込み、指定された出力先に転送する。

【0021】また、制御回路94は、各種のデータ処理を行なうCPU回路102と、このCPU回路102の動作を規定するプログラムや各種の定数データが格納されるROM回路103と、CPU回路102の作業エリ

アなどとして使用されるRAM回路104と、図6に示す如く半導体メモリにより構成される1次記憶装置105やハードディスクによって構成される2次記憶装置106などを有し、画像データの格納エリアなどとして使用される画像メモリ回路107と、他の画像形成装置1とデータ通信を行なうSCSIドライバ108と、CPU回路102からの指示に基づき前記セレクタ回路99を制御する処理、このセレクタ回路99から出力される画像データを取り込み、画像メモリ回路107に格納する処理、CPU回路102から出力される画像加工指令に基づき画像メモリ回路107に格納されている画像データを加工する処理、この画像メモリ回路107に格納されている画像データを読み出して指定された加工などを施した後でセレクタ回路99に供給する処理、前記SCSIドライバ108を介して他の画像形成装置1などと制御指令、画像データなどの授受などを行なうメモリコントローラ回路109と、CPU回路102と前記操作装置7との間の通信をサポートするI/Oポート回路110とを備えている。

【0022】システムコントローラ119と通信を行なって画像処理手順を決定し、この決定内容に基づきI/Oポート回路110を介して操作装置7と通信を行ないながら、画像処理回路92を制御してCCDイメージセンサ26から出力される画像信号の処理を行なわせ、これによって得られた画像データを取り込んで画像の間引き処理、画像の切出し処理、圧縮加工などの指定された加工処理を行なったり、画像データまたは加工済みの画像データを書き込み光学ユニット56に供給させたり、SCSIドライバ108を介して他の画像形成装置1と画像データなどの授受を行なったりする。この際、メモリコントローラ回路109は、図6に示す如く入力された複数の画像データの中から指定された画像データを選択する入力データセレクタ回路111と、この入力データセレクタ回路111によって選択された画像データに対する合成処理、ソート処理、画像の回転処理などを行なう画像合成回路112と、この画像合成回路112によって加工された画像データを取り込んで圧縮した後画像メモリ回路107を構成する1次記憶装置105に記憶させる処理や前記1次記憶装置105に記憶されている圧縮済みの画像データを読み込んで、伸長する処を行なう1次圧縮／伸長回路113と、この1次圧縮／伸長回路113によって伸長された画像データや画像合成回路112で画像合成された画像データなどを取り込んでCPU回路102やセレクタ回路99などのうち、指定された回路に出力する出力データセレクタ回路114と、前記1次記憶装置105に記憶されている圧縮済みの画像データを取り込み、これをさらに圧縮して画像メモリ回路107の2次記憶装置106に記憶させる処理や前記2次記憶装置106に記憶されている圧縮済みの画像データを読み込んで、伸長した後前記1次記憶装置

105に記憶させる処理などを行なう2次圧縮／伸長回路115とを備えている。そして、システムコントローラ119から画像圧縮指示や画像合成指示などがあったとき、指定された画像データを取り込んで指定された画像と合成し、これを指定された回路に出力する処理、指定された画像データを取り込んで1次圧縮して画像メモリ回路107の1次記憶装置105に格納する処理、この1次記憶装置105に格納されている圧縮済みの画像データを伸長する処理、前記1次記憶装置105に格納されている圧縮済みの画像データを2次圧縮して画像メモリ回路107の2次記憶装置106に格納する処理、この2次記憶装置106に格納されている圧縮済みの画像データを伸長する処理などを行なう。

【0023】《ハードウェア構成例》上述した基本構成に対し、図7に示す如く利用者を制限するのに必要な利用者制限機器116、操作者が画像形成装置1に近づいたとき、これを検知して予熱モードからコピー可能状態に移行させる人体検知センサ117、ある時刻になったとき機械をブートしたり、シャットダウンしたりするウイークリータイマ機能を持たせる時計118、機械のエラーが発生したとき、サービスセンタに自動的にこれを通知したり、機械の実行状態／使用状態を遠隔地からモニタする遠隔診断回路(CSS)120を付加して画像形成装置1を構成し、システムコントローラ119の制御の下に画像信号処理部91を制御してMH方式、MR方式、MMR方式などで画像データを圧縮して1次記憶装置105を構成するDRAMブロックに記憶させる処理、DMAブロックによって前記DRAMブロックに記憶されている画像データを連続して読み出し、画像作成装置5に転送する処理などを行なう。あるいは、図8に示す如くシステムコントローラ119に設けられているCPUと、画像作成装置5に設けられているCPUと、画像読み取り装置4に設けられているCPUと、画像信号処理部91に設けられているCPUとを相互に接続して画像形成装置1を構成し、システムコントローラ119の制御の下に画像読み取り装置4と、画像作成装置5と、画像信号処理部91とを制御してMH方式、MR方式、MMR方式などで画像データを圧縮して1次記憶装置105を構成するDRAMブロックに記憶させる処理、DMAブロックによって前記DRAMブロックに記憶されている画像データを連続して読み出し、画像作成装置5に転送する処理などを行なう。

【0024】《ネットワーク構成》図9に示す如くSCSIケーブル121を使用して図7または図8に示すように構成した複数台の画像形成装置1を相互に接続して、これらの各画像形成装置1の1つをマスタ機(操作機)として動作させ、他の各画像形成装置1をスレーブ機(リモート機)として動作させることにより、マスタ機となる画像形成装置1で読み取った原稿の画像データをこの画像形成装置1および他の各画像形成装置1で指

定された部数のプリント処理を分担させることにより、コピーの生産性を向上させる。この場合、これらの各画像形成装置1を相互に接続するネットワークとして、SCSIケーブル121を使用しているので、最大で8台の画像形成装置1を相互に接続することができる。

【0025】《ソフトウェア構成》この際、図10に示す如くSCSIケーブル121によってマスタ機となる画像形成装置1と、スレーブ機となる画像形成装置1とを接続し、図11に示すソフトウェア構成でマスタ機となる画像形成装置1によってスレーブ機となる画像形成装置1を制御する。この場合、マスタ機となる画像形成装置1およびスレーブ機となる画像形成装置1には、複写動作を行なうコピーシーケンスを実行するコピーアプリケーション(コピーアプリ)122、スレーブ機となる各画像形成装置1からの依頼に基づきSCSIケーブル121上に画像データなどを送出して、各画像形成装置1に転送させるデーモンプロセス123を持つアプリケーション層124と、操作装置7を制御する操作部コントローラ125、周辺機器を制御する周辺機器コントローラ126、画像作成装置5を制御する画像形成装置コントローラ127、画像読み取り装置4を制御する画像読み取り装置コントローラ128、画像信号処理部91を制御するメモリユニット129、前記コピーアプリ122およびデーモンプロセス123の指示に基づき操作部コントローラ125～メモリユニット129を制御するシステム制御部(システムコントローラ)130を持つシステム制御層131と、操作部コントローラ125～メモリユニット129の共通入出力デバイスとして使用される入出力制御部(論理/物理変換を行なうデバイスドライバなどのレイヤ)132、前記メモリユニット129によって制御されるSCSIコントローラ133を持つデバイス制御層134とに階層化されたソフトウェアやデバイスなどが格納される。連結動作が指示されているとき、アプリケーション層124、システム制御層131、デバイス制御層134とに含まれる各ソフトウェア、各デバイスによって、原稿台10上にセットされている原稿を読み取りってプリント処理しながら、図12に示す如くこれら各原稿の画像データをスレーブ機となる各画像形成装置1に伝送して、指定された部数、枚数だけプリント処理を分担させる。スレーブ機となる各画像形成装置1のうち、定着加熱、LCTトレイ上昇時間、ポリゴンモータ回転安定時間、トナー補給動作など、コピー処理で実行される処理を行なっている画像形成装置1(現在、コピーを行なっている画像形成装置1)については、モード設定、原稿のセット終了を予約させて、定着加熱処理などが終了して、コピー動作可能になった時点で、自動的にコピーを開始させる、動作予約などを行なって、コピー処理の依頼を行なう。

【0026】《形態例の動作》次に、図13～図28に示す各フローチャート、各模式図などを参照しながら、

この形態例の動作について説明する。

＜連結時の動作＞まず、図13のフローチャートに示す如く各画像形成装置1において、連結動作指定されなければ、各画像形成装置1毎に、原稿台10に原稿がセットされ、プリントキー33が押下されたとき(ステップST1、ST2)、原稿台10にセットされている原稿が1枚ずつ読み取られて、通常のプリント処理が行われる(ステップST3)。また、各画像形成装置1のうちの1つが操作されて、これがマスタ機に指定され、他の画像形成装置1がスレーブ機に指定された状態で原稿台10に原稿がセットされ、プリントキー33が押下されれば(ステップST1、ST2)、マスタ機となっている画像形成装置1によってスレーブ機となっている各画像形成装置1にプリント実行指示が出された後(ステップST4)、原稿台10にセットされている原稿が1枚ずつ読み取られ、これによって得られた画像データが画像メモリ回路107に記憶されながら、スレーブ機となっている各画像形成装置1に伝送されて、これらマスタ機となっている画像形成装置1およびスレーブ機となっている各画像形成装置1のプリント処理が開始され、原稿の画像が転写紙46上に転写されて、後処理装置6の排紙トレイ81上または落下トレイ83に排紙されるとともに(ステップST5)、連結動作中であることを示す連結動作中フラグがセットされる(ステップST6)。

【0027】また、スレーブ機となっている各画像形成装置1側では、図14のフローチャートに示す如くマスタ機となっている画像形成装置1からプリント処理依頼が出力されているかどうかがチェックされ、これが出力されていたとき(ステップST7)、現在、このプリント処理依頼を実行可能な状態であるかどうかがチェックされ(ステップST8)、プリント処理依頼を処理可能な状態であれば、依頼されたプリント処理が開始され(ステップST9)、またプリント処理依頼を処理不可能な状態であれば(ステップST8)、マスタ機となっている画像形成装置1に対し、プリント処理を続行不可能なことを示す信号と、その理由とが伝送される(ステップST10、ST11)。この場合、図15のフローチャートに示す如くマスタ機となっている画像形成装置1またはスレーブ機となっている各画像形成装置1のいずれかで、何らかのプリント動作中断理由が発生したとき、例えばジャムが発生したとき、プリント動作が中断され(ステップST15、ST16、ST17)、またペーパーエンドが発生したとき、同様にプリント動作が中断され(ステップST18、ST19)、また何らかの異常(サービスマンコールなど)が発生したときも、プリント動作が中断される(ステップST20、ST21)。

【0028】さらに、これらマスタ機となっている画像形成装置1またはスレーブ機となっている各画像形成装

置1のいずれかで、トナーエンドが発生したときや中断依頼を受信したときも、同様にプリント動作が中断される（ステップST22～ST25）。この後図14のフローチャートに示す如くマスタ機となっている画像形成装置1からプリント処理の続行依頼がOutputされれば（ステップST7、ST12）、現在プリント処理が実行可能かどうかがチェックされ（ステップST13）、一度プリント処理を中断したもののその後中断理由が解除されてプリント処理が可能であれば、続行依頼されたプリント処理を再開する（ステップST14）。また、この時点で、中断理由が解除させておらず、プリント処理が続行不可能であれば（ステップST13）、マスタ機となっている画像形成装置1に対し、プリント処理を続行不可能なことを示す信号と、その理由と、既にプリントした部数、枚数などの情報とが伝送される（ステップST10、ST11）。

【0029】具体的には、図16のフローチャートに示す如くプリント動作中断理由が発生した画像形成装置1がスレーブ機となっている各画像形成装置1のいずれかであれば（ステップST30、ST31）、この画像形成装置1からマスタ機となっている画像形成装置1に続行不能を示す信号と、その理由を示す情報と、プリント済みの部数、枚数情報とがマスタ機となっている画像形成装置1に伝送される（ステップST32、ST33）。この後プリント動作中断理由が無くなったとき

（ステップST34）、この画像形成装置1からマスタ機となっている画像形成装置1に続行不能をリセットさせる信号が伝送される（ステップST35）。これにより、図17のフローチャートに示す如くスレーブ機となっている画像形成装置1から続行不能を示す信号が伝送されたとき（ステップST36～ST38）、マスタ機となっている画像形成装置1によって、この信号とその理由を示す情報と、プリント済みの部数、枚数情報とが取り込まれて、操作装置7のLCDディスプレイ27上に、続行不能となっている画像形成装置1の番号と、続行不能となっている理由などとが表示された後（ステップST39）、現在、続行不能となっている画像形成装置1から続行不能をリセットさせる信号が伝送されたとき（ステップST36～ST38、ST40）、操作装置7のLCDディスプレイ27上に表示されていた続行不能状態が消去されるとともに（ステップST41）、この画像形成装置1が続行不能になる前のジョブを他の画像形成装置1に依頼していかなければ（ステップST42）、この画像形成装置1に対し、続行動作依頼が出て、最初に依頼したプリント動作指示が中断箇所から再開させられる（ステップST43）。

【0030】また、この動作と並行して、図18～図21のフローチャートに示す如くマスタ機となる画像形成装置1の操作装置7によって連結動作モードが設定されれば（ステップST45、ST46）、この画像形成

装置1によって、連結動作中フラグ（他の連結動作中であることを示すフラグ）がセットされているかどうかがチェックされ、これがセットされていれば（ステップST47）、スレーブ機となっている各画像形成装置1の動作状態をチェックするのに必要な中断停止機記憶バッファがクリアされるとともに（ステップST48）、動作中チェックフラグがリセットされる（ステップST49）。この後各画像形成装置1のうち、第1番目の画像形成装置1がマスタ機またはスレーブ機として連結動作に設定されているかどうかがチェックされ、これが連結動作に設定されていれば（ステップST50、ST51）、この画像形成装置1が連結動作に組み込まれていることを示す動作中チェックフラグがセットされるとともに（ステップST54）、この画像形成装置1が連結動作に組み込まれているものの、現在、何らかの理由により、連結動作を中断していれば（ステップST51、ST52）、中断停止機記憶バッファにこの画像形成装置1が現在、連結動作を中断していることが書き込まれる（ステップST53）。

【0031】以下、第2～第8番目の各画像形成装置1について、上述した第1番目の画像形成装置1に対する処理と同様な処理が行われて、これら第2～第8番目の各画像形成装置1が連結動作に組み込まれているかどうか、連結動作に組み込まれていても、現在、連結動作を中断しているかどうかが各々、チェックされ、このチェック内容に基づき動作中チェックフラグのリセット処理、中断停止機記憶バッファに対する書き込み処理が行われる（ステップST55～ST89）。この後これら第1～第8の各画像形成装置1のうち、動作中チェックフラグがセットされ、動作を中断している画像形成装置1があれば（ステップST90、ST91）、中断停止機記憶バッファ内に書き込まれている内容に基づきこの画像形成装置1が機械自体の電源が遮断されて停止しているか、何らかの中止理由があつてプリント処理の途中で処理を中断したものかどうかがチェックされる。

【0032】各画像形成装置1のうち、プリント処理の途中で処理を中断している画像形成装置1があれば、この画像形成装置1に依頼していたプリント処理のうち、残っている部数、残っている枚数が既にプリント処理を終了している各画像形成装置1に振り分けて、プリント処理を開始せるとともに（ステップST92）、プリント処理を依頼した画像形成装置1の番号などが記憶された後（ステップST93）、プリント処理の途中で処理を中断している画像形成装置1にプリント処理の中止が指示され、他の画像形成装置1に対して残りのプリント処理を依頼したことが各画像形成装置1のLCDディスプレイ27上に表示され（ステップST94）、さらにマスタ機となる画像形成装置1のLCDディスプレイ27上に表示されているプリント処理の分担先内容が変更される（ステップST95）。また、プリント処理の

途中で処理を中断している画像形成装置1が無ければ(ステップST90、ST91)、連結動作中フラグがリセットされるとともに(ステップST96)、各画像形成装置1に分担処理を依頼していれば(ステップST97)、各画像形成装置1に対して依頼していたプリント処理の内容(依頼部数、依頼枚数などの内容)がLCDディスプレイ上に表示され(ステップST98)、全ての連結動作が終了したことを示すメッセージが表示される(ステップST99)。

【0033】<各請求項の動作>次に各請求項に対応する動作内容を図22～図24に従って説明する。図27は請求項1に対する動作フローである。この動作フローは、スレーブ機となる4台の画像形成装置1(ここではリモート機(1)～(4)と記す)を連結動作させる場合における動作例を示しており、マスター機となる画像形成装置(ここでは操作機と記す)1は、プリントキー33が押下されると、各機のリロード状態をチェックする。そして、操作機1、及びリモート機(1)～(4)が全てリロード中、すなわち定着ヒータの温度が定着可能温度に達していないためコピーが不可能である状態であれば(ST110～114でYes)、操作機1側で原稿の読み取り動作を先行して行っておく(ST115)。一方、いずれか1台でもリロード状態になっている装置があれば(ST110～114でNo)、この処理を終了し、プリント開始処理に移行する。上記のように、請求項1に対応する実施の形態では、少なくとも1台の画像形成装置1を操作機として原稿画像を読み取り、そのコピー処理を少なくとも2台以上のリモート機(1)～(4)に分担させる際、操作機1のプリントキー33が押下された時点で、リモート機(1)～(4)が全てリロード状態になっていない場合は、原稿画像の読み取り動作を先行するようになしたことにより、ダウンタイムを少なくし、トータルとしての作業性を向上できる。

【0034】図28は請求項2に対する動作フローである。このフローでは、操作機1は、プリントキー33が押下されると、各リモート機(1)～(4)の動作状態及びリロード状態をチェックする。その際、先ず、リモート機(1)がまだプリント動作実行中であるか否かをチェックし(ST120)、プリント動作中でなければ(ST120でNo)、リモート機(1)がリロード中か否かをチェックし(ST121)、リロード中でなければ、すなわちリロード状態になっていれば(ST121でNo)、リモート機(1)に対してコピー処理の分担を依頼するコマンドを送信してプリント動作を開始させる(ST122)。一方、リモート機(1)がまだプリント動作実行中である場合(ST120でYes)、及びリモート機(1)がリロード中である場合(ST121でYes)には、リモート機(1)に対しコピー依頼は行わず、次のリモート機(2)の状態チェックに移

行し、リモート機(2)がプリント動作中でなく(ST123でNo)、且つリロード中でなければ(ST124でNo)、リモート機(2)に対してコピー処理の分担を依頼し(ST125)、そうでなければ、更に次のリモート機(3)の状態チェックに移行する。これらの処理を残る2台のリモート機(3)及び(4)に対しても実行する(ST127～ST131)。そして、全てのリモート機(1)～(4)に対してコピー依頼のコマンド送信がなされるまで監視処理を続行し、全てのリモート機(1)～(4)に対してコピー依頼を行った段階で(ST132でYes)、処理を終了する。上記のように、請求項2に対応する実施の形態では、コピー処理を分担するリモート機(1)～(4)のいずれかがリロード状態になっていない場合は、リロード状態になったリモート機(1)～(4)に対して順次コピー依頼を行ってプリント動作を先行して行わせることにより、ダウンタイムを少なくし、トータルとしての生産性をより向上させることができる。

【0035】図29は請求項3に対する動作フローである。このフローでは、操作機1は、プリントキー33が押下されると、先ず原稿画像の読み取りが終了したかどうかをチェックし(ST140)、終了していたならば(ST140でYes)、各リモート機(1)～(4)に対し画像データ転送済みであるか否か、及び各リモート機(1)～(4)がリロード状態をチェックする。その際、先ず、リモート機(1)に対し画像データ転送済みであるか否かをチェックし(ST141)、転送済みでなければ(ST141でNo)、リモート機(1)がリロード中か否かをチェックし(ST142)、リロード中でなければ(ST142でNo)、リモート機(1)に対してコピーを分担させる画像データを転送する(ST143)。一方、リモート機(1)に対して画像データ転送済みである場合(ST141でYes)、及びリモート機(1)がリロード中である場合(ST142でYes)には、次のリモート機(2)のチェックに移行し、リモート機(2)に対して画像データ転送済みでなく(ST144でNo)、且つリモート機(2)がリロード中でなければ(ST145でNo)、リモート機(2)に対して画像データを転送し(ST146)、そうでなければ、更に次のリモート機(3)のチェックに移行する。これらの処理を残る2台のリモート機(3)及び(4)に対しても実行する(ST147～ST152)。そして、全てのリモート機(1)～(4)に対して画像データ送信がなされるまで監視処理を続行し、全てのリモート機(1)～(4)に対してコピー依頼を行った段階で(ST153でYes)、処理を終了する。上記のように、請求項3に対応する実施の形態では、コピー処理を分担するリモート機(1)～(4)のいずれかがリロード状態になっていない場合は、リロード状態になっているリモート機(1)～

(4) に対する画像データ転送を先行するようになしたことにより、ダウンタイムを少なくし、トータルとしての作業性をより向上させることができる。

【0036】<他の形態例>また、上述した各形態例においては、各画像形成装置1を相互に接続するケーブルとして、SCSIケーブル121を使用するようにしているが、他のケーブル、例えばイーサネットケーブルなどを使用したLAN形式の接続方式で、各画像形成装置1を接続しても、またTCP/IPプロトコルなどを使用したインターネットなどのOSI(Open System Interface)参照モデルを使用した接続方式で、各画像形成装置1を接続するようにしても良い。このようにしても、上述した各形態例と同様な効果を得ることができる。

【0037】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、請求項1では、原稿画像を読み取りその画像データを他の装置に転送する機能を備えた複数の画像形成装置を通信媒体を介して相互に接続し、各画像形成装置間で画像データを相互に転送して画像を出力させるようになした画像処理システムにおいて、少なくとも1台の画像形成装置を使用して原稿画像を読み取り、そのコピー処理を少なくとも2台以上の画像形成装置に分担させる際、原稿画像の読み取りを行う画像形成装置のコピー動作開始指示キーが押下された時点で、コピー処理を分担する画像形成装置が全てリロード状態になっていない場合は、原稿画像の読み取り動作を先行するようになしたことにより、ダウンタイムを少なくし、トータルとしての作業性を向上させ、大量の原稿を大量に複写することができる。また、請求項2では、請求項1の効果に加え、コピー処理を分担する画像形成装置のいずれかがリロード状態になっていない場合は、リロード状態になった画像形成装置のプリント動作を先行して行わせることにより、装置の使用効率を上げ、リロードによるダウンタイムを最小限に押さえることができる。また、請求項3では、請求項1の効果に加え、コピー処理を分担する画像形成装置のいずれかがリロード状態になっていない場合は、リロード状態になっている画像形成装置に対する画像データ転送を先行して行うようになしたことにより、装置の使用効率を上げ、リロードによるダウンタイムを最小限に押さえることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による画像処理システムの一形態例で使用される画像形成装置の一例を示す構成図である。

【図2】図1に示す操作装置の詳細な構成例を示す平面図である。

【図3】図2に示すLCDディスプレイの表示内容例を示す平面図である。

【図4】図5に示す画像信号処理部の詳細な回路構成例を示すブロック図である。

【図5】(a)乃至(e)は図5に示す画像信号処理部の動作

タイミング例を示すタイムチャートである。

【図6】図5に示すメモリコントローラ回路および画像メモリ回路の詳細な回路構成例を示すブロック図である。

【図7】図1に示す画像形成装置に周辺機器を付加した通常のハードウェア構成例を示すブロック図である。

【図8】図1に示す画像形成装置に周辺機器を付加した通常の他の一例を示すハードウェア構成例を示すブロック図である。

【図9】図1に示す画像形成装置を複数台、使用した画像処理システムの一例を示す構成図である。

【図10】図9に示す画像処理システムを構成する各画像形成装置の1つをマスタ機とし、他の1つをスレーブ機としたときの回路構成例を示すブロック図である。

【図11】図10に示すマスタ機となっている画像形成装置と、スレーブ機となっている画像形成装置のソフトウェア構成例を示す模式図である。

【図12】図11に示す回路構成例でのプリント処理例を示す模式図である。

【図13】図9に示す画像処理システムの動作開始処理例を示すフローチャートである。

【図14】図9に示す画像処理システムのリモート動作依頼受付処理例を示すフローチャートである。

【図15】図9に示す画像処理システムの続行不能時中断処理例を示すフローチャートである。

【図16】図9に示す画像処理システムのスレーブ続行不能情報通知処理例を示すフローチャートである。

【図17】図9に示す画像処理システムのスレーブ続行不能表示処理例を示すフローチャートである。

【図18】図9に示す画像処理システムの連結動作終了チェック処理例を示すフローチャートである。

【図19】図9に示す画像処理システムの連結動作終了チェック処理例を示すフローチャートである。

【図20】図9に示す画像処理システムの連結動作終了チェック処理例を示すフローチャートである。

【図21】図9に示す画像処理システムの連結動作終了チェック処理例を示すフローチャートである。

【図22】図9に示す画像処理システムの各動作のうち、請求項1に対応するマスタ機の動作例を示すフローチャートである。

【図23】図9に示す画像処理システムの各動作のうち、請求項2に対応するスレーブ機の動作例を示すフローチャートである。

【図24】図9に示す画像処理システムの各動作のうち、請求項3に対応するマスタ機の動作例を示すフローチャートである。

【図25】従来から知られている画像処理システムの第1例を示すブロック図である。

【図26】従来から知られている画像処理システムの第2例を示すブロック図である。

【図2】従来から知られている画像処理システムの第3例を示すブロック図である。

【符号の説明】

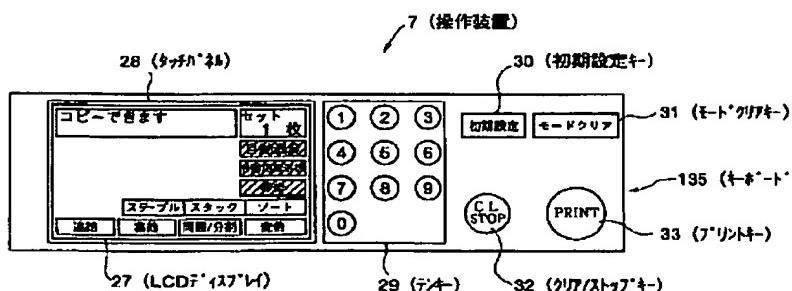
1…画像形成装置、2…装置筐体、3…自動原稿送り装置、4…画像読み取り装置、5…画像作成装置、6…後処理装置、7…操作装置、8…給紙装置、9…送り装置筐体、10…原稿台、11…原稿セット検知センサ、12…給送ローラ、13…ローラ、14…給送ベルト、15…給送機構、16…排紙部、17…排送ローラ、18…コンタクトガラス、19…第1キャリッジ、20…光源、21…第1ミラー、22…第2キャリッジ、23…第2ミラー、24…第3ミラー、25…レンズ、26…CCDイメージセンサ、27…LCDディスプレイ、28…タッチパネル、29…テンキー、30…初期設定キー、31…モードクリアキー、32…クリア/ストップキー、33…プリントキー（コピー動作開始指示キー）、34…状態メッセージ、35…コピー枚数表示メッセージ、36…自動濃度キー、37…自動用紙選択キー、38…等倍キー、39…ゾートキー、40…スタッキキー、41…ステープルキー、42…変倍キー、43…両面/分割キー、44…集約キー、45…連結モードキー、46…転写紙、47…第1給紙トレイ、48…第2給紙トレイ、49…第3給紙トレイ、50…第1給紙ユニット、51…第2給紙ユニット、52…第3給紙ユニット、53…搬送ローラ、54…縦搬送ユニット、55…レジストローラ、56…書込み光学ユニット、57…両面給紙ユニット、58…顕像化ユニット、59…紙転写ユニット、60…定着ユニット、61…搬送路切替ユニット、62…制御基板、63…レーザー出力ユニット、64…レンズ群、65…ミラー、66…感光体、67…現像ユニット、68…紙転写バイアスローラ、69…駆動ローラ、70…搬送ベルト、71…定着ローラ、

10

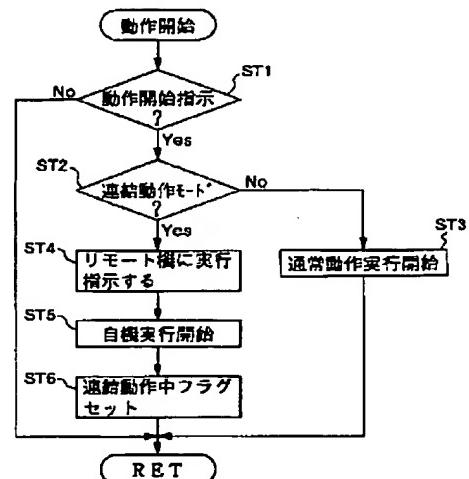
72…加圧ローラ、73…取込みローラ、74…切替爪、75…排紙ローラ、76…両面入紙ローラ、77…反転ローラ、78…両面給紙カセット、79…再給紙ローラ、80…筐体、81…排紙トレイ、82…ステープルトレイ、83…落下トレイ、84…分岐偏向板、85…スタッカ搬送ローラ、86…スタッカ排紙ローラ、87…ステープラ搬送ローラ、88…ステープラ排紙ローラ、89…落下ストップ、90…ステープラ、91…画像信号処理部、92…画像処理回路、93…印字イメージデータ発生回路、94…制御回路、95…A/Dコンバータ回路、96…シェーディング補正回路、97…MTF/γ補正回路、98…第1印字合成回路、99…セレクタ回路、100…第2印字合成回路、101…変倍回路、102…CPU回路、103…ROM回路、104…RAM回路、105…1次記憶装置、106…2次記憶装置、107…画像メモリ回路、108…SCSIドライバ、109…メモリコントローラ回路、110…I/Oポート回路、111…入力データセレクタ回路、112…画像合成回路、113…1次圧縮/伸長回路、114…出力データセレクタ回路、115…2次圧縮/伸長回路、116…利用者制限機器、117…人体検知センサ、118…時計、119…システムコントローラ、120…遠隔診断回路（CSS）、121…SCSIケーブル、122…コピーアプリケーション（コピーアプリ）、123…データモンプロセス、124…アプリケーション層、125…操作部コントローラ、126…周辺機器コントローラ、127…画像形成装置コントローラ、128…画像読み取り装置コントローラ、129…メモリユニット、130…システム制御部、131…システム制御層、132…入出力制御部、133…SCSIコントローラ、134…デバイス制御層、135…キーボード

30

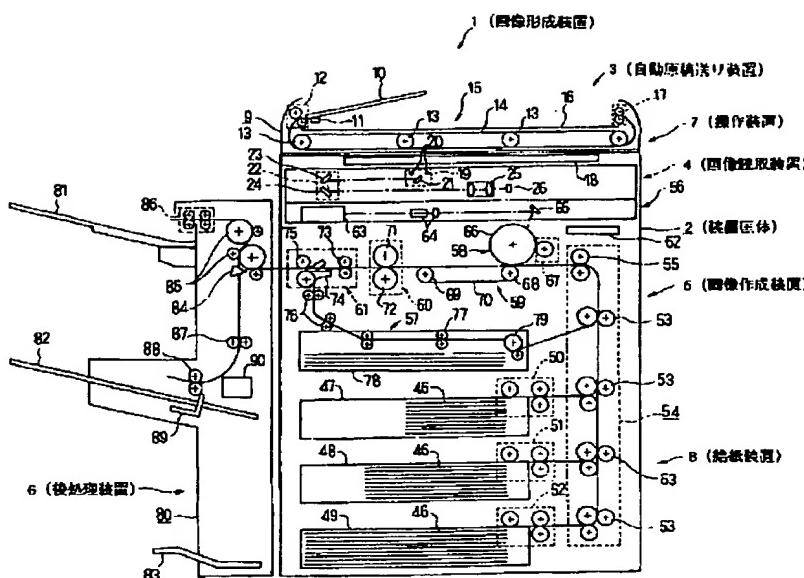
【図2】



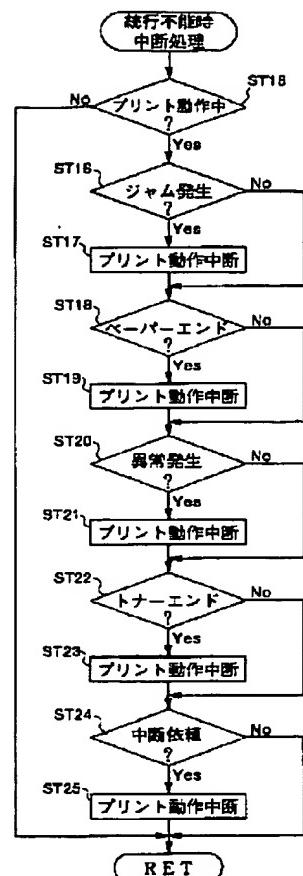
【図13】



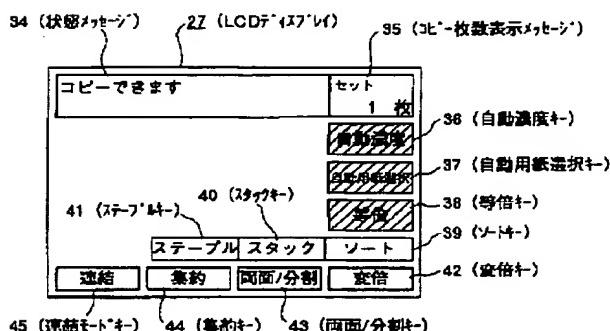
【図1】



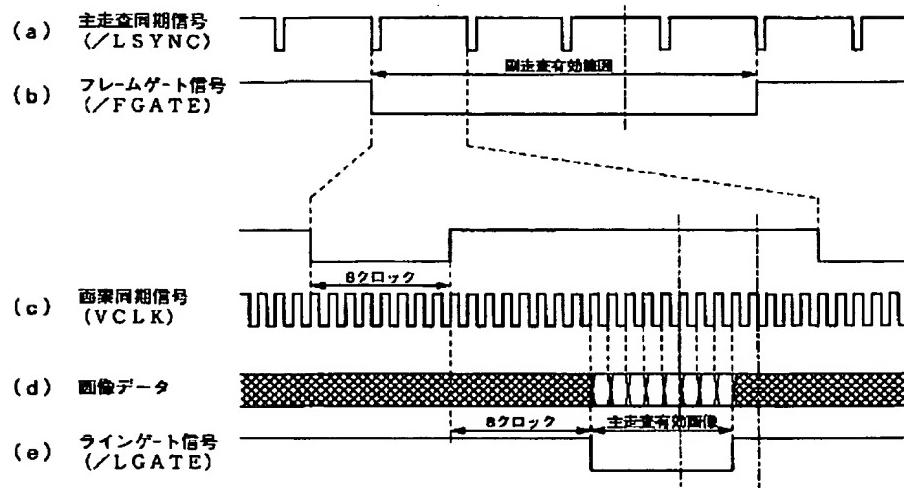
【図15】



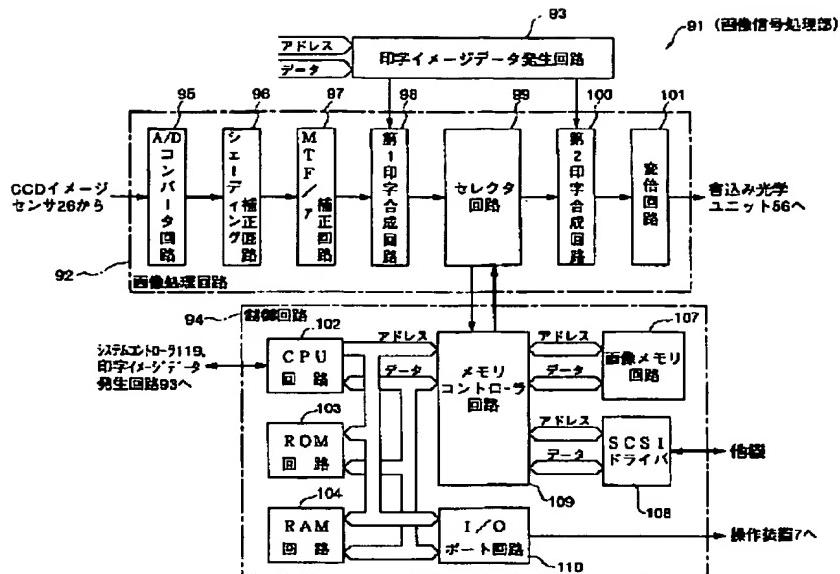
【図3】



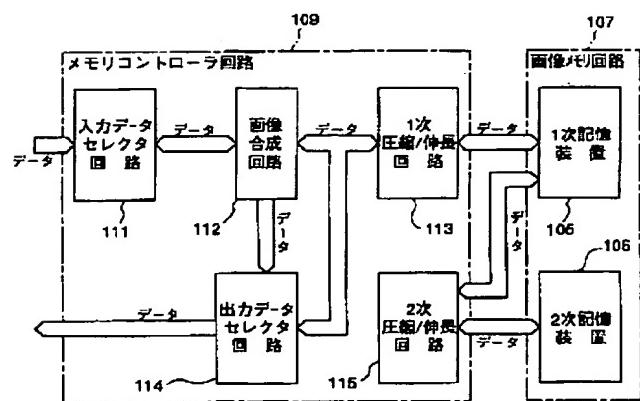
【図5】



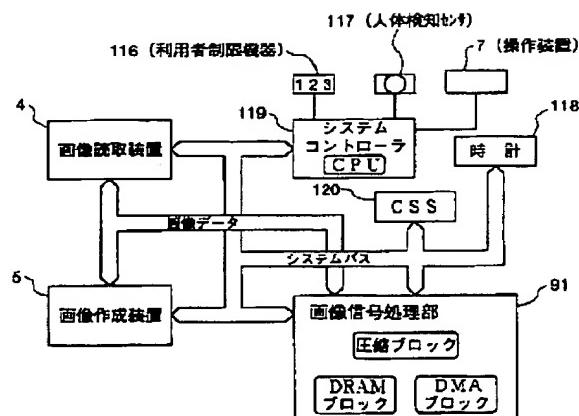
【図4】



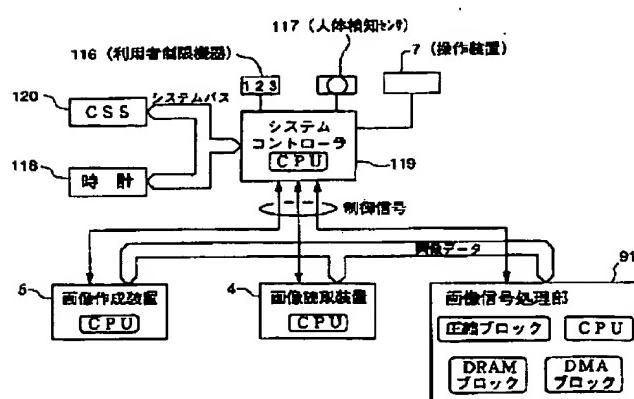
【図6】



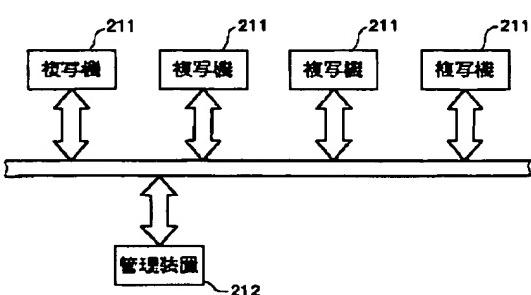
【図7】



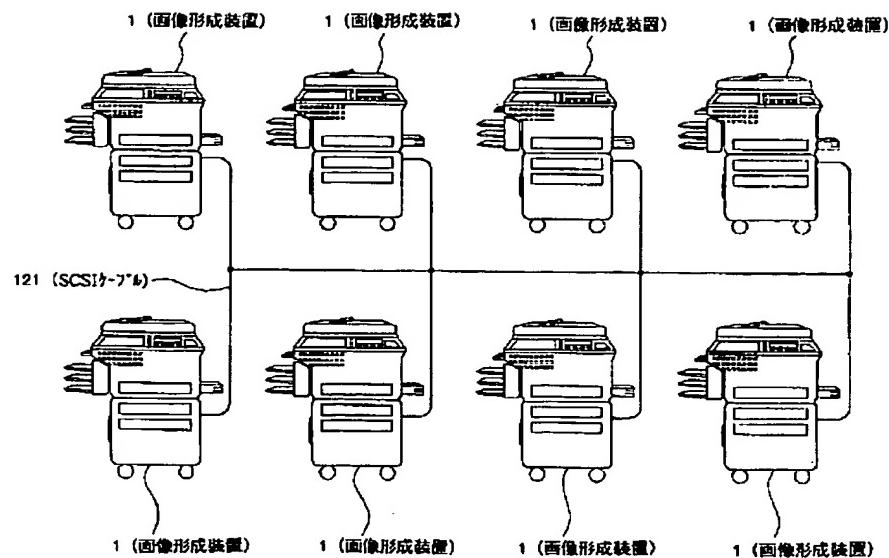
【図8】



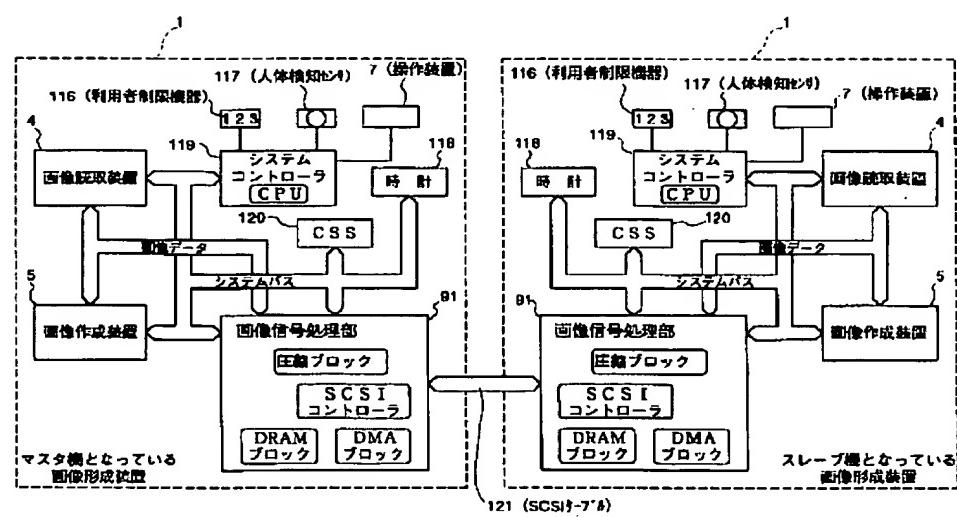
【図26】



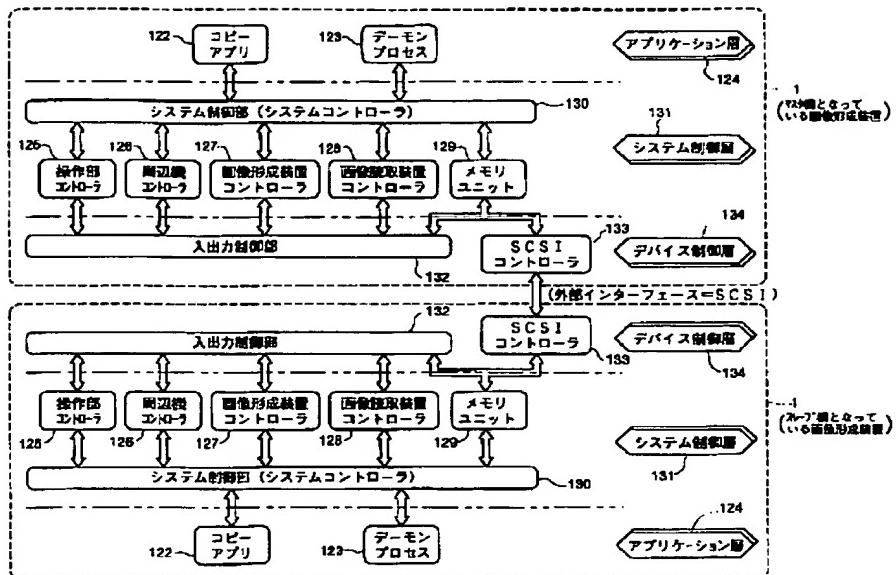
【図9】



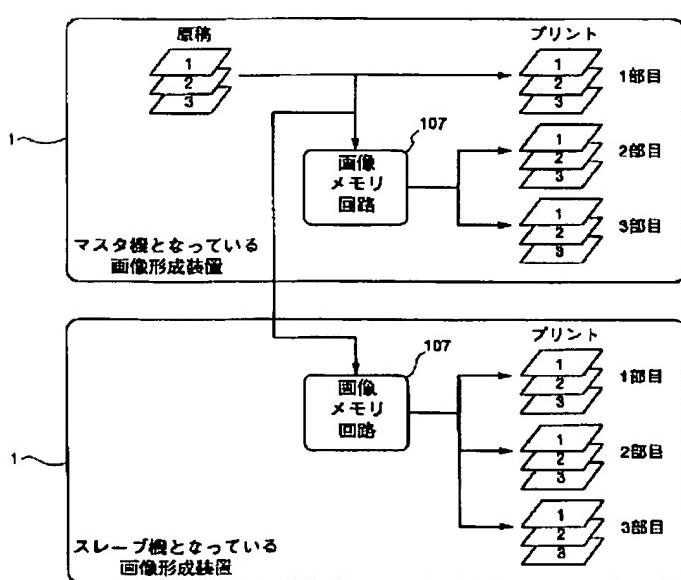
【図10】



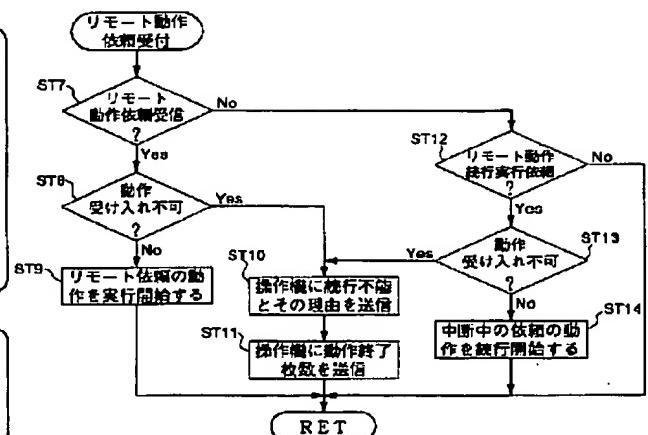
【図11】



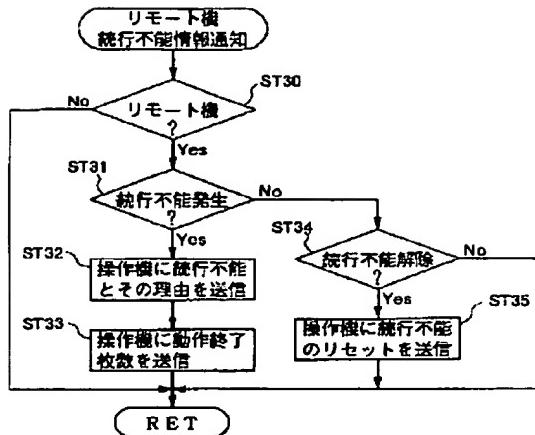
【図12】



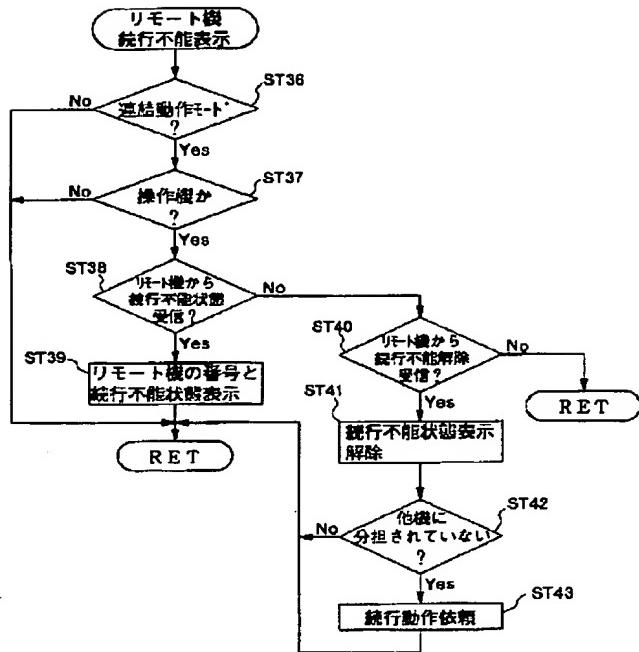
【図14】



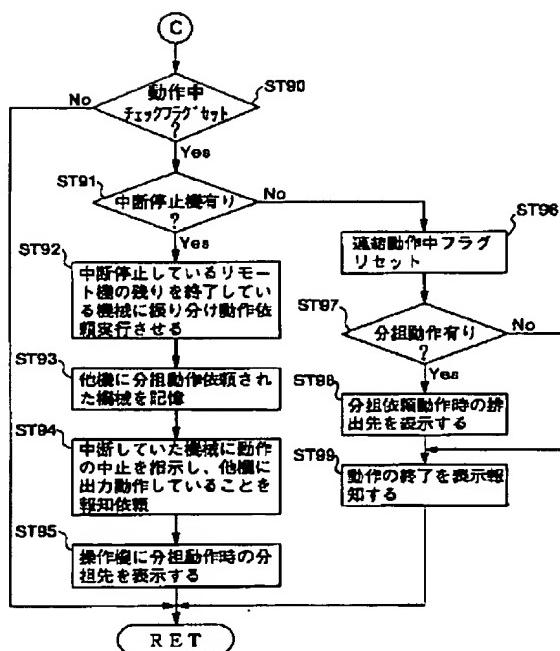
【図16】



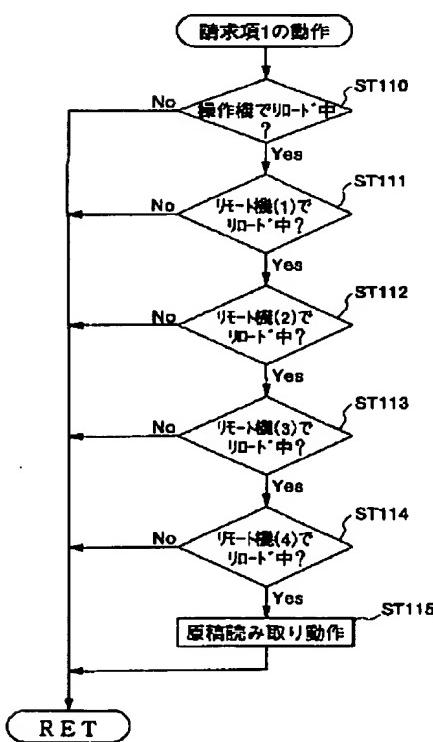
[図17]



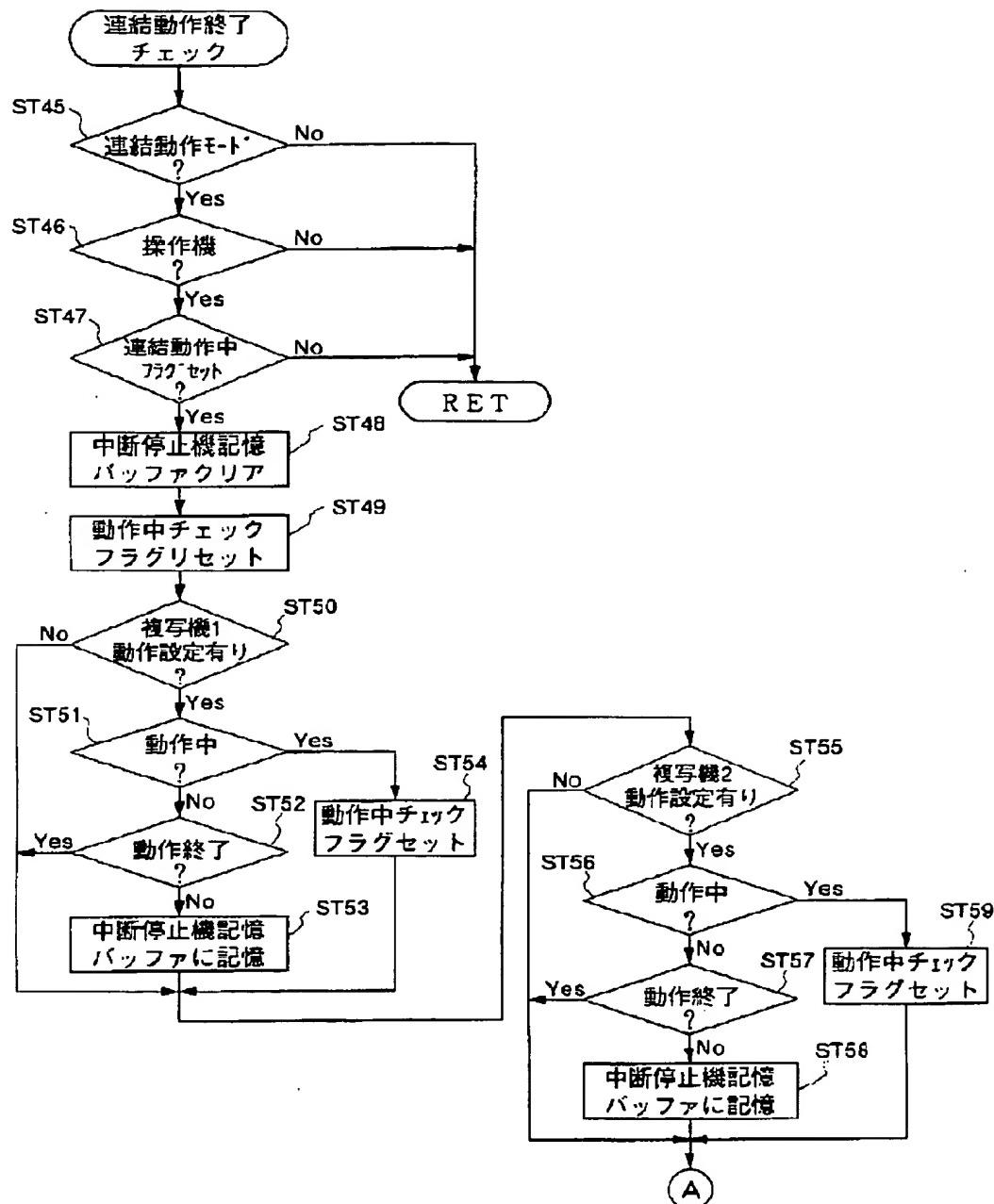
[図21]



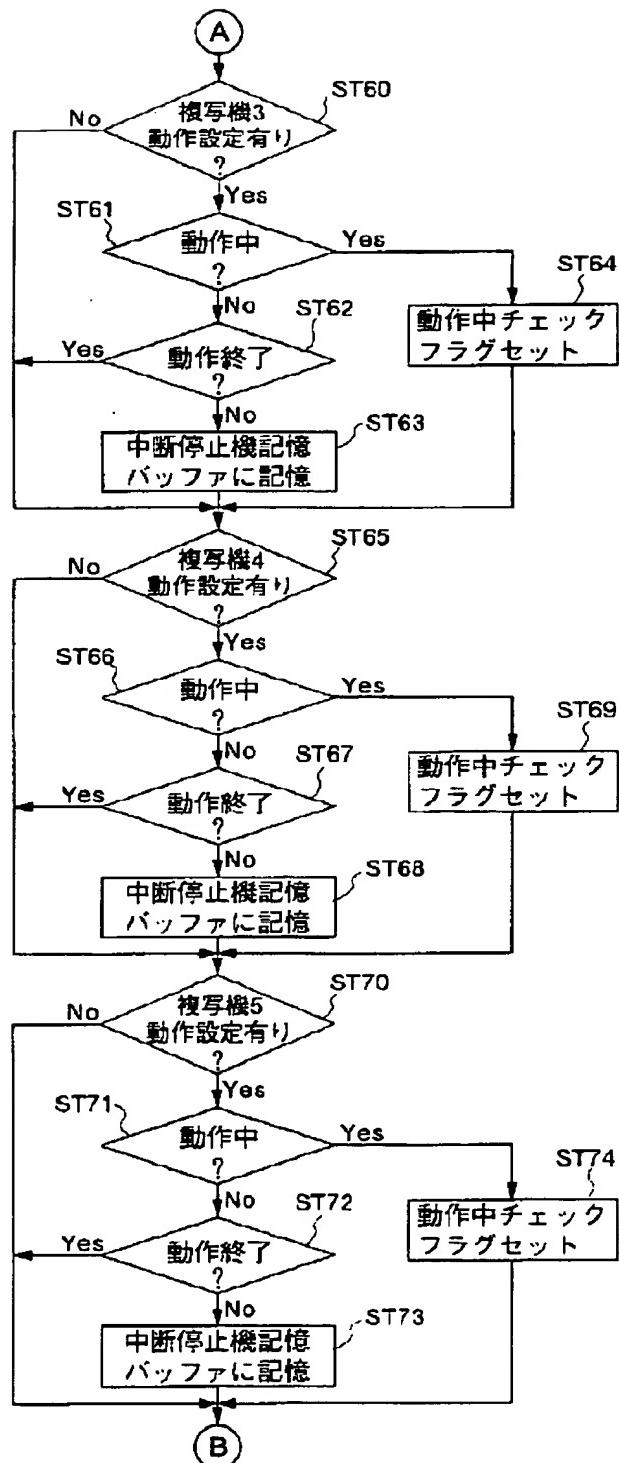
【图22】



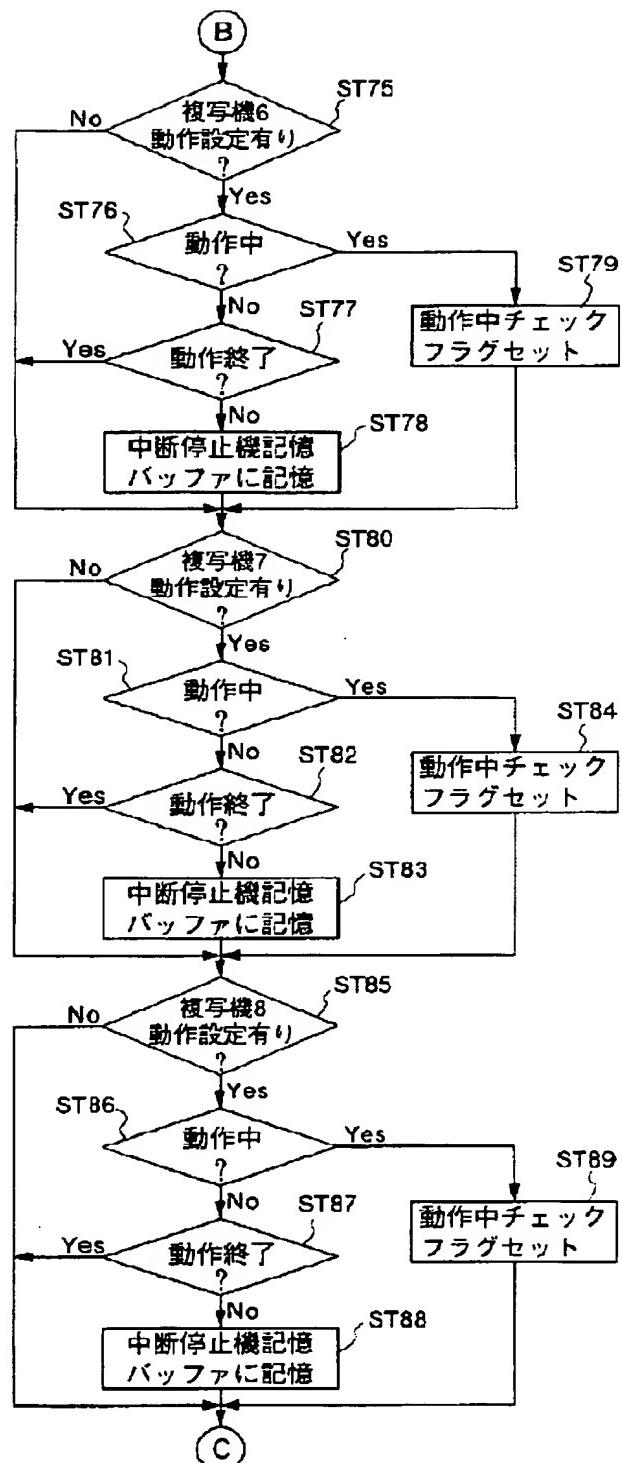
【図18】



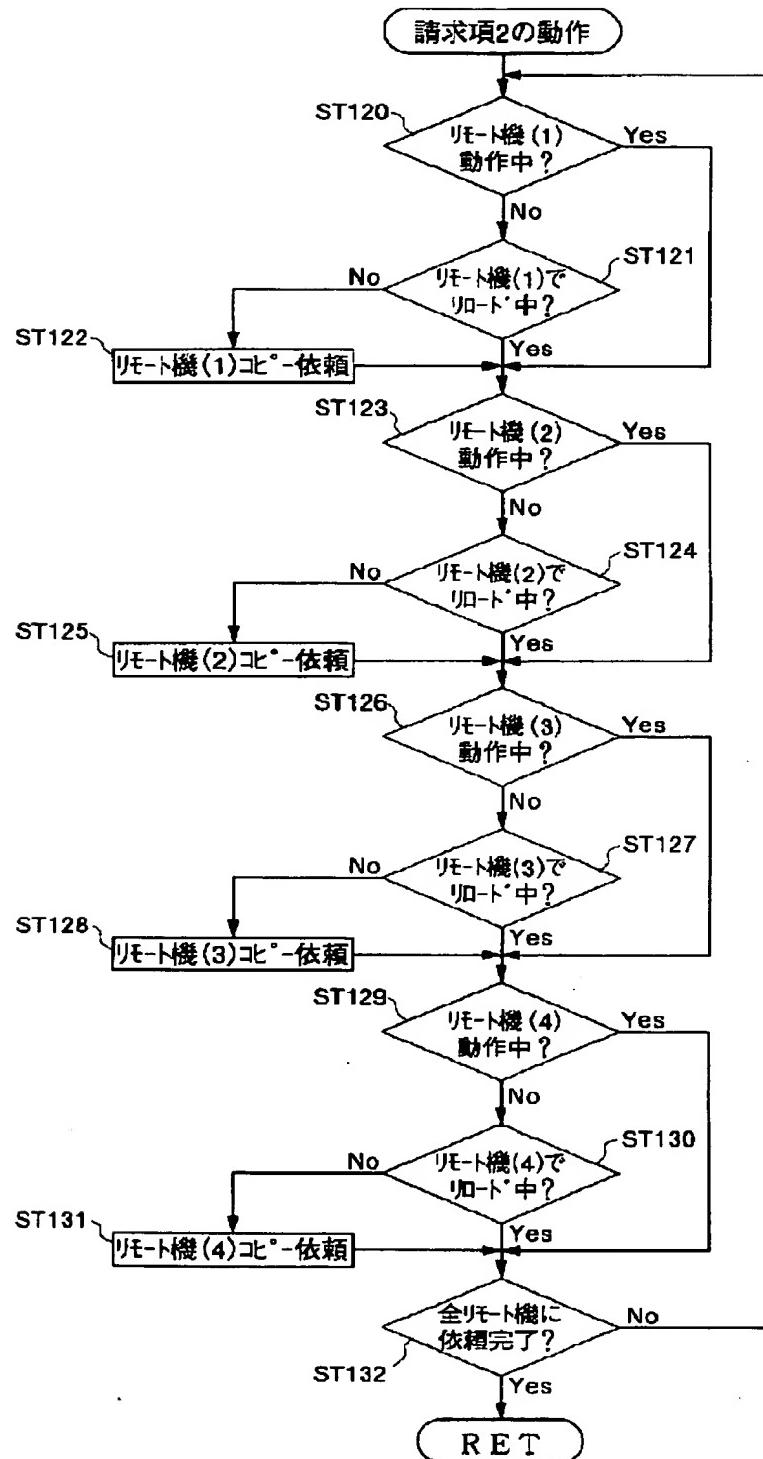
【図19】



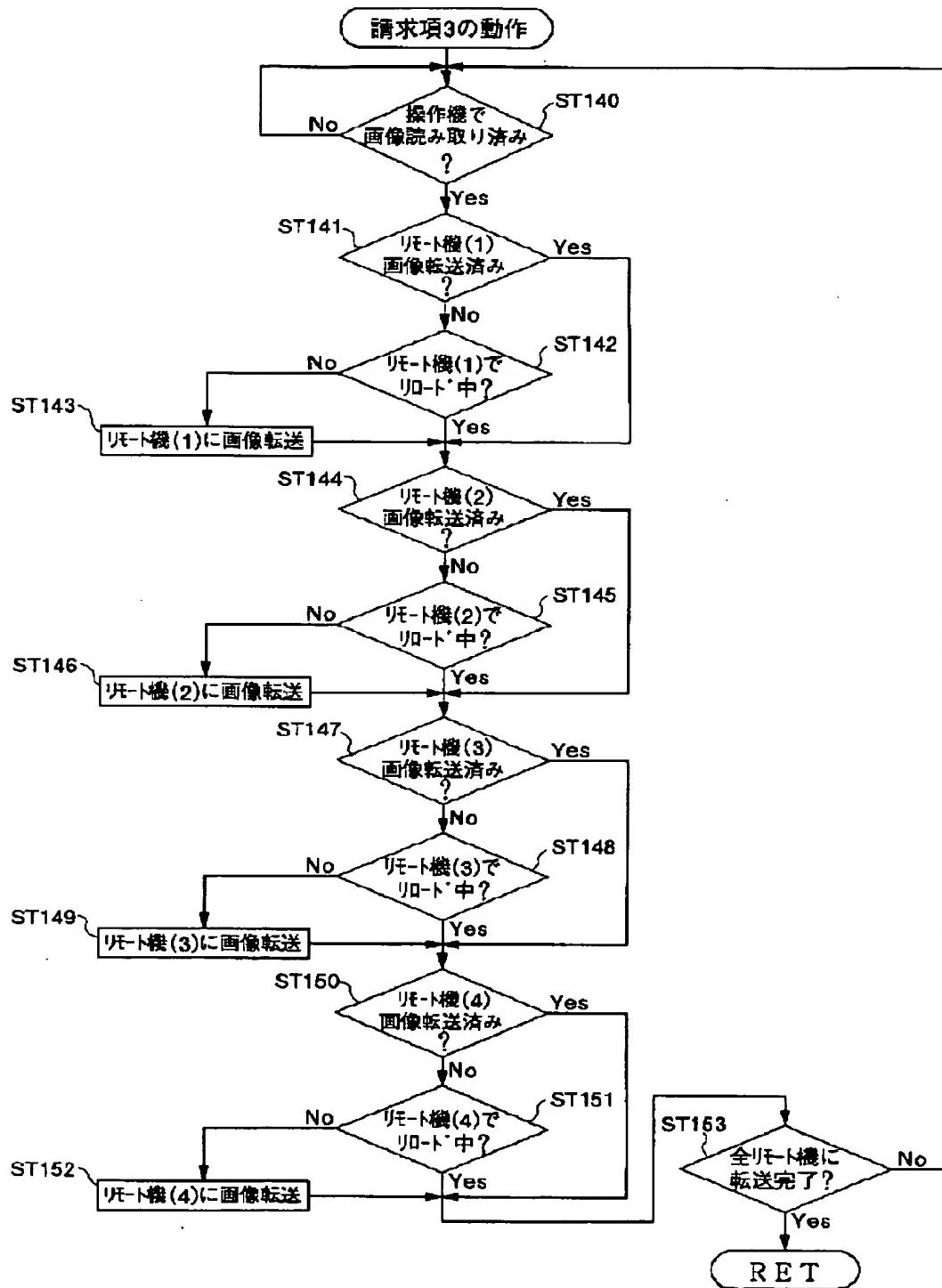
【図20】



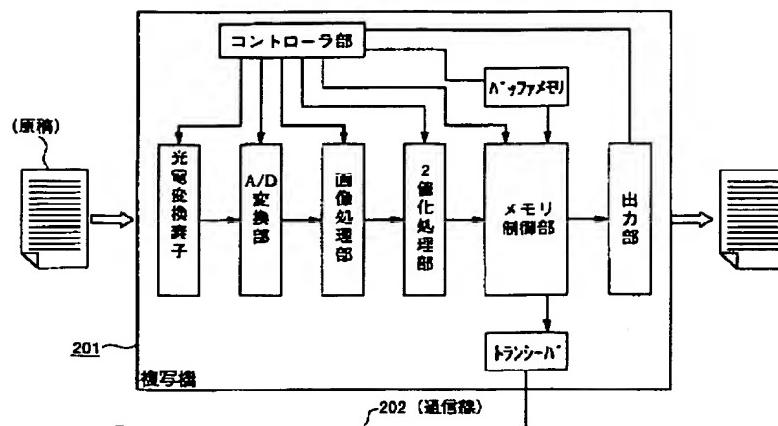
【図23】



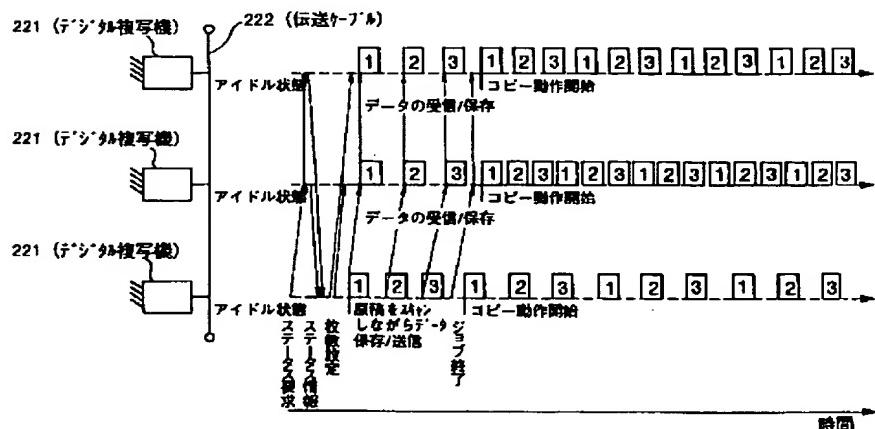
【図24】



【図25】



【図27】



フロントページの続き

(12) 発明者 原田 知史
 東京都大田区中馬込一丁目3番6号 株式
 会社リコー内

(12) 発明者 服部 康広
 東京都大田区中馬込一丁目3番6号 株式
 会社リコー内